

2024 1

歯ッピー通信

将来の歯を守ろう

Q. 年をとったら歯が少なくなるのは当たり前？

A. いいえ。大事にすれば 80 歳でも自前の歯でいられます！

スウェーデンの歯科治療

歯の治療・予防において、スウェーデンは世界の最先端であると言えます。この国では、80 歳代の高齢者の残存歯数が約 20 本となっており、成人の歯の本数は親知らずを除くと全部で 28 本なので、3 分の 2 以上の歯が残っているということです。同年代の日本人の残存歯数は約 13 本ですから、その差は歴然です。



イメージ

「予防」の重要性

なぜこんなにも差があるのでしょうか？

スウェーデンも昔からこうだった訳ではありません。1970 年代に「予防」を重視する治療に変更してから、国民の虫歯と歯周病を大幅に減らすことに成功しました。そのため、予防を大切にすることで、失う歯の本数をもっと減らすことができるのです。

また、日本では保険適用外の治療を敬遠する方も多いですが、保険適用外だから選択できることも多々ある、ということを知っていただき、治療を受けることをおすすめします。

～お餅と歯の関係～

新年といえば、お餅を食べるイメージがありますが、なぜお餅を食べるのかご存知ですか？お正月にお餅を食べる理由は実は歯とも由来しています。平安時代から宮中でお正月に健康と長寿を祈願して行われる正月行事として『歯固めの儀』というものがありました。お餅は神様にささげる神聖な食べ物であり、またお餅は長く延びて切れないことから長寿を願う意味がこめられているのです。



本年もいっしょに、お口の健康を守っていきましょう！

TORITSUKASEI MINAMIGUCHI SHIKA



医療法人社団 千恵会
都立家政南口歯科
DENTAL CLINIC

☎03-5356-8088
東京都中野区若宮3丁目17-6 メゾンドグリシーヌ 1F